

議題2「幸区内の緑化推進」について

1 提案理由

(1) 幸区内緑のデータからみえる緑の少なさ

区別緑被率 幸区 15.60% (中原区に次いで低い。市全体 29.21%)

「区内町丁目の6割が緑被率5%未満」

区別公園数 幸区 公園・緑道・緑地 89か所、36.96ha

(一人あたりの公園面積 7区最低) (平成17年3月末現在)

(2) アンケートからみえる区民の緑化へのニーズ

「さいわい区づくりアンケート」

約62,000世帯中699通の回答。

環境に関する要望多い。

「市民1万人アンケート」

幸区民762名が回答。

「どのようなまちにしたいか」で

「水辺や緑を活かした自然豊かなまち」(40%) 「スポーツ施設や公園の整備されたまち」(21%)

と緑の推進を求める区民の声は多い。

2 現在の取り組みについて(区民との協働を中心に)

(1) 区役所関連事業

魅力ある区づくり推進事業「花と緑のさいわい事業」(16年度実施)

公共花壇花植え事業

南加瀬辻町内会内花壇設置

緑化活動団体支援事業 など

環境局との連携事業

新川崎創造のもり暫定緑化事業

新川崎地区暫定緑化地において、平成16年2月にクヌギやコナラの苗木約250本植樹しました。植樹活動、ビオトープ空間づくり、花壇づくりなどが、市民と行政との協働により行われています。

(2) 環境局の施策（区民との協働・民有地の緑化）

街路緑化、緑道・緑地の整備

ア 公園緑地愛護会

イ 街路樹等愛護会

ウ 自主管理協定による公園等の維持管理活動

川崎市公園緑地協会の取り組み

ア 屋上緑化・壁面緑化

イ 緑の活動団体

3 今後の緑化の取り組み

(1) 公有地・市有地の緑化推進

公有地の緑化推進・都市再開発に伴う緑化推進

ア 川崎駅西口再開発に伴う緑化の整備

イ 新川崎駅地区計画に伴う緑化推進

民有地の緑化推進

ア 地域緑化推進地区設定への支援

幸区内に地域緑化推進地区をモデル的に設定し、幸区独自の支援策ができないかどうか検討する。